



元気に泳ぐ稚魚を放流する児童ら↑

★元 川床小がマダイの稚魚を放流 元気に大きく育て

川床小学校（上野誠校長）は7月13日、育てる漁業を推進する「鹿児島県豊かな海づくりパイロット事業」を活用したマダイの稚魚の放流体験学習を行いました。

これは、東町漁業協同組合青壮年部（須崎隆文部長）が主催。この日は、3・4年生の児童27人が3隻の船に分かれ、脇崎港沖の八代海に体長7センチほどの稚魚約1万1千400尾余りを放流しました。参加した児童らは「大きい魚に食べられないように元気でね」と何度も声をかけながら稚魚が海に潜っていくのを笑顔で見送っていました。

3年の中村颯海くんは「小さくてかわいかった。これからもこの海で大きく育てほしいです」と成長を期待しました。

Aコープあづま店前でチラシを渡す会員↓



★早 「つけてますか？作戦」キャンペーン 早めの点灯で事故を防いで

阿久根地区交通安全協会長島東支部（石橋親信支部長）は、事故の未然防止を図るため交通安全キャンペーン「つけてますか？作戦」を7月23日、Aコープあづま店の駐車場で行いました。

この取り組みは、早めの点灯を心がけるとともに、夜間の歩行者が増える夏場にあわせて反射材をしっかりと付け、ドライバーに注意を促すことを目的に実施されました。同会の石橋会長は「一人でも多くの人に声かけ運動を行い、事故の未然防止につなげたい」と話しました。

★誓 長島町戦没者追悼式 誓いを新たに故人を偲ぶ

長島町戦没者追悼式が7月26日、遺族ら約100人が参列し、長島町開発総合センターで行われました。

戦没者に対し黙祷を捧げた後、川添健町長は「平和の尊さを後世に伝え、郷土長島の発展を誓う」と慰霊の言葉を述べました。遺族を代表して小浜の瀧畑順一さんが「先人は祖国の平和と発展を願い勇戦奮闘された。尊い命の犠牲があり平和な日々が送れている」とあいさつしました。続いて各種団体代表者による献花が行われ、戦争がない恒久平和への誓いを新たにしました。



平和を願いしめやかに開かれた追悼式↑